

乾田V溝直播情報(第2号)

令和7年3月 28 日
射水市農業技術者協議会

1. 播種作業

- ・4月中旬から下旬を中心に、圃場がよく乾いた状態で播種作業を行う。
- ・苗立ち安定と鳥害回避のため、①適正なV溝(深さ5cm、幅2cm)の形成、②覆土の量、③種子と肥料の減り具合を確認する。
- ・乾田 V 溝直播は玄米タンパクが高くなりやすいので、前作物や土壌区分に応じた施肥量を守る(表1)。



よく乾いた状態で播種する

表1 適正基肥量の施肥基準

		コシヒカリ		富富富	
播種量		6～7kg/10a		7kg/10a	
施肥量 (kg/10a)	肥料名	LPss 乾田直播専用		乾田直播富富富専用	
	前作物	水稻	大豆	水稻	大豆
	粘質土	20～22	12～14	17～21	14～17
	壤質 砂質土	22～24	14～16	19～25	15～20

※ JA からの供給種子は全量消毒済です。

2. 圃場管理

- ・周囲からの浸水を防ぐため、播種前に排水溝の手直しなど排水対策を徹底する。
- ・播種後、圃場が乾きすぎた場合は通水し、苗立ちを促進する(水が圃場全体に行き渡ったらすぐに落水)。
- ・「富富富」の出芽揃いは、「コシヒカリ」より遅い傾向にあるため、圃場が乾きすぎないように注意。

3. 1回目の除草剤散布

- ・播種後、気温が高く推移した場合は、イネの生育が早まるため、目安より早めに散布する。
- ・散布作業が遅れた場合は、必ず土中の芽の様子を確認し、芽が伸びている場合は散布を中止する。
- ・散布時は田植済みの移植圃場など周辺の作物にドリフトしないように注意する。

播種時期	散布時期	稲の状態	薬剤名	10a 当たり		使用回数
				薬量	希釈水量	
4/11～20	播種後 10～15 日頃	出芽前	ラウンドアップ マックスロード (マーシェット乳剤)※	200～500mℓ	25～50ℓ	2回以内
4/21～25	播種後 10 日頃			(1,000mℓ)	(50ℓ)	(1 回)
4/26～	播種後 7日頃					

※「マーシェット乳剤」を準備している場合は、「ラウンドアップマックスロード」と混用散布する。
ただし、圃場水分が高いと薬害(発芽抑制)が発生するので使用しない。

マーシェット乳剤
混用の場合

【お問い合わせ先】

JA いみず野営農指導課 TEL:52-6805 高岡農林振興センター射水班 TEL:26-8478

JA いみず野ホームページ <http://www.ja-imizuno.or.jp>